



市川市の教育 基本理念  
「人をつなぐ みらいへつなぐ 市川の教育」

市川の教育の目指す姿

○互いを認め合い、自分の思いを実現できる子ども  
○誰もが**幸せ**を感じ、ともに学び支え合う、家庭・学校・地域



学校教育目標【地域、家庭、児童、職員のすべてが当事者】

【Well-being ～すべての子供たちが幸せを実感できる学校～】

- ・自分のよさや可能性を認識できるようにし、子どもに自信をもたせること。（自己認識）
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、子どもの居場所をつくること。（相互尊重）
- ・社会に開かれた教育課程により多様な人々と協働し、「人のため」を大切にすること。（他者貢献）

## みんなでつくろう**幸せ**な学校

### 【目指す子どもの姿】

- 【自学】自ら進んで学ぶ子（学力）
- 【自律】自分を高める子（学力・心・体）
- 【共育】互いを認め合える子（心）
- 【健康・体力】進んで健康な体をつくる子（体）
- 【地域】すべての子どもが幸せを実感できる地域にする

### 【目指す教職員の姿】

- |                |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| <b>1 安全・安心</b> | <b>2 礼儀正しさ</b> | <b>3 演技・演出</b> | <b>4 効率・能率</b> |
| ① 人的環境で        | ① 児童に          | ① やる気にさせるため    | ① 学習指導の場面で     |
| ② 物的環境で        | ② 保護者に         | ② ベストを尽くさせるため  | ② 生活指導の場面で     |
| ③ 組織で対応        | ③ 同僚に          | ③ 自信をつけさせるため   | ③ 事務業務の場面で     |

【自学】自ら進んで学ぶ子を育てる（能力）

【自律】自分を高める子を育てる（能力）

### 【具体的な姿】

- 興味・関心を持って主体的に学習することができる。
- 失敗を恐れず、チャレンジすることができる。
- 粘り強く探究することができる。
- 見通しを持って計画的に学習することができる。
- 物事をより良くしようとする考え方が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

### 【具体的な取組】

- 基礎的・基本的な学習内容の定着**
  - ・読書活動の推進と教科での図書資料の活用。（読む）
  - ・調べたことをまとめる機会を設ける。（書く）
  - ・まとめたことを発表する機会を設ける。（話す・聞く）
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導目標の明確化**
  - ・探究的な学びを推進する。
  - ・児童の主体的な学びの場を意図的に与え、適切な評価を行う。
  - ・児童に学びを促す時は、「自己決定」させ、「自己有用感」を持てるようにする。
- 個別最適化学びと協働的な学びの一体的な充実**
  - ・自分の課題を自分の方法で学ぶ機会を増やす。
  - ・友達や大人たちと共に課題を解決する機会を増やす。
- 人と人をつなぐ ICT**
  - ・ICT と対面授業のハイブリッドな学習を実現する。
  - ・一人ひとりの学習状況に関するデータを連動させ、効果的に支援を行う。
- 教科担任制、ローテーション授業、少人数指導、専科指導、まなびくらぶ**

【共育】互いを認め合える子を育てる（心）

【自律】自分を高める子を育てる（心）

### 【具体的な姿】

- 仲間を大切にしながら、共に成長することができる。
- 他者のよさを見つけ、それを認めていくことができる。
- 誰にでも平等に接することができる。
- 探究的な学習や体験活動等の場で、多様な人々と協働することができる。
- 物事をより良くしようとする態度が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

### 【具体的な取組】

- 誰一人取り残さない学びの保障**
  - ・サポーターを活用し、個のニーズに応じた支援を実施する。
  - ・ICT を活用し、家庭と連携して学びを確保する。
- 切れ目のない支援**
  - ・スマイルプランを活用し、保護者や児童への継続したきめ細やかな支援体制を提供する。
- 多様な学びの場**
  - ・SSR の活用、情緒学級、ゆとりぎや学級と連携し、児童の居場所づくりに努める。
- 他者とのあたたかな人間関係づくり**
  - ・道徳教育、人権教育を推進する。
  - ・縦割り活動（掃除、大野っ子タイム、ペアタイム）
  - ・計画委員会、学級会等、児童が自己決定できる場を設定し、適切な評価をして認め、自信を持たせる。
  - ・明確な課題と目標を設定し、努力できるよう支援する。

【健康・体力】進んで健康な体をつくる子を育てる（体）

【自律】自分を高める子を育てる（体）

### 【具体的な姿】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣を身につける。
- 食と健康に関する興味関心を高め望ましい食習慣を身につける
- 生涯を通じて、運動やスポーツに親しむ。
- 物事をより良くしようとする考え方や態度が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

### 【具体的な取組】

- 「運動大好き！」な子どもたちを育てる。**
  - ・大野っ子タイム、委員会活動、正課体育の充実を図る。
  - ・スポーツチームと連携し、本物に触れる機会をつくる。
- ヘルシースクールの推進**
  - ・全学年において、教科等横断的な視点で食育を推進する。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につける。**
  - ・健全な食生活を実践するための正しい知識を普及・啓発する。
- 危険予知能力及び回避能力の向上**

【地域】すべての子どもが幸せを実感できる地域にする

### 【具体的な取組】

- 学校運営協議会、地域学校協働活動本部の効果的な運営・活用**
- 地域や企業の教育資源の積極的な活用**
  - ・学校支援実践講座、多文化共生講座、SNC、サマースクール
- 子どもの教育を通じた地域活性化への貢献**
  - ・サマーフェスティバル、夏祭り、ウォークラリー等の参加